

重点施策マネジメントシート

平成 29 年度事後・決算

平成 29 年 月 日時点

資料1-3

重点施策	103	故郷創出プロジェクト	主管課	担当班		
基本目標	3	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	関係課	① 秘書広報課	② 企画政策課	③ 農水産課
				④ 都市整備課	⑤	⑥

(1) 施策の目標指標、KPI

① 目標指標	数値目標		基準値	目標値 (31年度)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)
	3	人口の社会増減	-27人 (25年度)	増減ゼロ	1人	233人	▲298人		

② KPI	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (31年度)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)	関連する定住自立圏共生ビジョン掲載事業	
	9	ホームページのアクセス件数 (重3、施25)	865,305件 (26年度)	1,000,000件	844,763件	759,801件	831,807件			/
10	累計転入世帯数 (重3、施16)	67世帯 (26年度)	267世帯	112世帯	159世帯	201世帯			(31)移住・定住促進事業	
11	函学の里で米作り交流事業参加者数	1,137人 (26年度)	1,200人	1,300人	1,252人	1,192人			(25)医療福祉・食・交流の郷づくり事業	

(2) 重点施策に関する検証

① 施策の進捗状況	完了	0.0 %	順調	62.5 %	概ね順調	25.0 %	停滞	12.5 %	実施困難	0.0 %
② (1)数値目標・KPIの実績値と(2)-①の状況の理由等	数値目標	【停滞】平成28年は233人の増となったが、平成29年は▲298人の社会減となった。要因としては外国人の社会増が平成28年度に比べ大幅に減少した事と考えられる。								
	KPI	KPI 9【停滞】ホームページのアクセス数はPC版とスマホ版の合算である。年度初めの庁内への呼び掛けにより、各課が記事を増やした結果、アクセス数が増加して目標値に近づいた。また夏期観光などの情報を中心にSNSからのリンクについてもアクセスが増加した。 KPI 10【概ね達成】定住促進奨励金交付事業において、市民生活課窓口で転入者に対しチラシを配布したほか、広報、ホームページ等で周知した結果、累積転入世帯数は概ね見込みどおりとなっている。転入世帯の居住地の内訳は、東総地域(銚子、匝瑳、香取)が47.2%、東総地域を除く県内と県外がそれぞれ26.4%となっている。 KPI 11【概ね達成】函学の里で米作り交流事業としては、概ね目標値を達成している。								
	③ 数値目標・KPI達成に向けた課題・問題点	HPアクセスについて、必要な情報はPCではなくスマホで調べる人が増えているため、減少したと思われる。 定住促進奨励金交付事業について、現在、窓口でチラシを受け取って初めて制度を知ったというケースが見受けられる。移住等の検討段階において、この制度を知っていただく必要がある。 都市景観の形成について豊かな緑と広い海など、他地域では味わえない豊かな自然を持ち合わせた旭であるが、近年では宅地開発が広範囲にわたって行われ、住宅・アパート・大型商業施設が建設されており、景観形成の一つである「まちなみの統一感」は現時点で難しい。・景観形成は、市として統一したビジョンを掲げる必要がある。しかし各課関係法令によって規制もさまざまであり、許認可行為にも隔たりがある。全ての法令をクリアした上で、市として明確な景観ビジョンを描けるかが課題である。								
	④ 31年度施策の方針	HPについて、引き続き情報量を増やすとともに、見やすい作成を心掛け、SNSとの連携も引き続き進める。 定住促進奨励金交付事業について、転入者への制度周知だけでなく、市外からの移住希望者へPR方法として、国や県等の移住支援関連団体への資料提供のほか、住宅メーカーへの制度周知も検討していく。 米作り体験を通じて、参加した都市住民等に本市の魅力PRする。 景観形成を具体的に描くための調査・研究を行う。 観光大使である「椎名佐千子」「桂竹千代」による旭市のPR。								
⑤ 31年度施策の方針に関連する事務事業名										
3300	インターネット活用事業	22400	② 農業振興事務費 (函学の里で米づくり事業)	4510	定住促進奨励金交付事業	27820	② 観光資源創出プロモーション事業 (観光大使)			

(3) 当該重点施策に関連する事業について(合計事業費)

事業費	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)	合計
事業費	千円	39,960	27,265	32,726	42,180			102,171
一般財源	千円	6,460	4,765	6,357	11,003			22,125

評価委員会からの意見

- ・定住促進奨励金について、周知もあまりないし、転入して1年以内に家を建てるのは難しいのではないかと。
- ・市で行っている創業支援や子育て、婚活などの情報を「あったか！旭」に集約して注目度を上げられないかと。
- ・旭市として外国人の受け入れとして何か施策はあるか。外国人の技能実習生は増えているのか。
- ・旭駅がさびしい。高齢化が進めば車から鉄道が重要になる。駅は玄関口となる。降りたら花があったり、緑があったり、そういうものがほしい。
- ・旭の海は観光資源である。規制をゆるめ、国や県と連携して、他の海とつながらなければ、観光客が来てくれるのでは。研究してはどうか。

評価委員会からの意見に対する担当課の考え

- ・制度については、転入者へのチラシ配付や、シティプロモーション専用ホームページ「あったか！旭」への情報掲載、移住支援を行う関係機関のホームページなどで周知しています。今後は移住を検討している方々を対象としたイベント等に参加し、旭市の移住定住施策を積極的にPRしていきます。制度の改正については、本年4月に金額を見直したところであるが、期間については、他市の状況を見つ検討していきます。
- ・「あったか！旭」は、移住定住支援、子育て支援、就業支援など、市外向けに情報を発信するサイトとして製作し本年4月から公開しており、季節ごとのイベント情報を掲載するなど、随時更新を行っています。今後も新たに創業支援その他の情報を掲載するなどサイトの充実にも努めるとともに、多くの方々の目にとまるようSNSの活用なども検討していきます。
- ・外国人研修生の受け入れについては、農家が希望してから実際に受け入れるまで時間がかかっているため、受け入れ手続き事務の簡素化について国・県に要望しているところです。また、市内農家での研修生の受入人数等、状況については、市として把握はしていません。在留期間の延長等、国の施策に動きもあり、今後外国人の雇用が大変重要になってくるため、積極的に取り組んでいきます。
- ・空き店舗に出店する際の経費の一部を助成する事業や商店等の開業を計画している方に対して、相談対応やセミナーを開催するなどの創業に必要な情報提供を行っています。今後もこれらの事業の周知に努めていきます。市では駅前広場の植込みにツツジや芝を植栽し管理をしています。また、駐輪場前の花壇には、地元ボランティアが年2回花苗を植えて駅周辺の環境美化を行っています。さらに植栽を増やすことについては、対応を検討していきます。
- ・海について、観光事業としては、海水浴場の開設や夏期イベント「いーおかYOU遊フェスティバル」、「砂の彫刻美術展」、「矢指ヶ浦サマーフェスタ」等が開催されていますが、夏期以外でも海に親しみ、楽しんでもらえることを検討していきます。潮干狩りについては、海産物漁から九十九里沿岸全域が禁止区域であるため許可はできない旨の回答を得ており、ハマグリ・ナガリミ・ヒラギなど貝類の水産資源保護について市民や観光客に理解いただけるよう関係機関と連携して周知を行っていきます。旭市の海岸は「県立九十九里自然公園」に指定され、県条例で車両の乗り入れを規制しています。なお、動植物保護を目的としていることから規制をさらに緩めることは難しいですが、観光振興のため一部規制を解除している箇所もあり、今後も引き続き県と協議していきます。

